

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原複合商業施設 新築工事	階数	地上7F
建設地	相模原市中央区小山1丁目728番228外	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,集会所,工場,等	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年11月11日
敷地面積	13,820.76 m ²	作成者	(株)NRC一級建築士事務所
建築面積	7,247.25 m ²	確認日	
延床面積	33,301.35 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 地域住民が「食べて、遊んで、運動」出来る複合商業施設の計画		
Q1 室内環境 建築材料に建築基準法の規制対象外となるJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 設備配管は耐用年数の長い配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー BPI _m =0.84 BEI _m =0.85	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率89%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される